

地方創生に向けて強固なスクラム

市と市内金融機関が包括連携協定を結ぶ

10月27日、市役所に福岡銀行、西日本シティ銀行、福岡中央銀行、田川信用金庫、田川農業協同組合の代表が集い「田川市と市内金融機関との包括連携協定締結式」が行われました。

この協定は、地方創生の一環で、市と市内金融機関5社がさまざまな分野で連携して、市の活性化や移住・定住の促進を図るものです。

連携最初の取り組みは、住宅ローン金利の優遇。同5社は、市内で住宅を購入・建築する際の金利を原則0.1%引き下げるほか、一部の金融機関では空き家の解体、改修ローン金利の引き下げも実施します。今後は、これに続くさまざまな取り組みで連携を進めていきます。



▲市の活性化に向け、握手を交わす金融機関の代表と二場公人市長(中央右)



▲相手を軽々と持ち上げる貴西龍さんの姿に大喜びの子どもたち

子どもたちよ、かかってきなさい!

大相撲貴乃花部屋の力士が小学校で相撲教室

11月13日～27日に福岡国際センター（福岡市博多区）で行われた大相撲11月場所に合わせ、貴乃花部屋が本市川宮に稽古場を構えました。本市滞在中、貴乃花親方や力士たちは、TAGAWA コールマイン・フェスティバルへの参加、田川警察署一日署長の就任（貴ノ岩関）、市内小学校での相撲教室など、積極的に地域と交流しました。11月10日に猪俣金学園で行われた教室では、本市出身の貴西龍さんなど力士4人が1～4年生の児童106人と相撲を取りました。

上着を脱いで気合十分だった岩下慶伍くん（4年生）は「力士さんは、見た目はぼっちゃりだけど、触ると筋肉がすごかった。横綱を目指して頑張ってほしい」と話しました。

藍 綬 褒 章

ひらつか 平塚 勇 さん(65歳、伊加利)

平塚さんは、昭和58年から現在に至るまでの永きにわたり、市消防団員として卓越した見識と手腕によって業務を遂行し、地域消防や郷土防火の発展に貢献された功績が認められました。

中でも、団員になってから間もない頃の冬、三井鎮西宮園町での火災で、凍てつく寒さに耐えながらホースを約10本つなぎ、無線通信などの連絡手段が不十分の中、火点～水利間を全力で往復し、指示や連絡を伝え続けたことが印象に残っているそうです。

現在も分団長を務める平塚さんは「この受章が後輩団員の励みになればうれしい」と話しました。

おめでとーですーいーますー

瑞 宝 単 光 章

かわなみ 川波 静司 さん(71歳、楠)

川波さんは、昭和46年から平成18年に退職されるまでの35年の永きにわたり、京都府警の警察官として公共の安全と秩序の維持に尽力し、その功績が認められました。特に生活安全部では、悪質な訪問販売や高金利金融、産業廃棄物の不法投棄などの捜査を約30年にわたり担当。法制度の知識や行政機関などとの連携体制によって、時代とともに様変わりするさまざまな犯罪を摘発し、安全で安心な住民生活の実現に貢献されました。

川波さんは「警察官としての人生を全うできたと感じました。本当にうれしい」と話しました。

※受章は11月3日付け。承諾いただいた人のみ掲載しています。年齢は受章日現在